

令和2年度 浜の活力再生プラン優良事列表彰 取組概要 古平町・積丹町地区水産業再生委員会（積丹町分会）



地区の概要



積丹町

- 北海道日本海側の積丹半島の先端部に位置する積丹町は、網漁業によるホッケ・カレイ・ヒラメや、浅海漁業によるウニ・ナマコなどが中心
- 陸上養殖、海中肥育などのウニの安定生産への取組や、大学等との連携によるウニ殻を活用したコンブの試験養殖や藻場再生などの循環型の取組といった、ウニを中心とした種々の取組を実施
- 東しゃこたん漁協(美国支所、積丹支所)、積丹町で構成する地域水産業再生委員会(分会)が取組を推進。

主な取組の概要

ウニの安定生産への取組

・天候に左右されない安定的なウニの出荷を可能とするために、陸上水槽によるウニ畜養の技術開発を実施
→町内住民や飲食店経営者による食味調査で高評価



陸上畜養試験



陸上畜養ウニの食味調査

・身入りが悪いウニの有効利用と安定供給のため、漁港内に設置した海中籠で給餌飼育する肥育試験を実施
→歩留まりが3倍以上向上



海中肥育試験



ウニ殻を活用した循環型のコンブ増養殖

・処理に苦悩していたウニ殻(むき身重量の約5~7倍排出)を活用したコンブ養殖用ロープによる試験を実施
→生産量の増加を確認、当該コンブを活用した生冷凍パック品等を製品化、コンブを餌として与えた町内産の羊のジンギスカン鍋がイベントで好評価
(羊販売実績約20kg、約8万円:予定数量完売)



生冷凍パック品

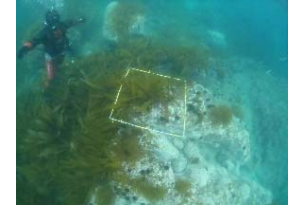


養殖コンブを食べる羊(水畜連携)

・ウニ殻を天然ゴムで固化した施肥材「ウニ殻肥料」を開発、磯焼け漁場での設置試験を実施
→ウニ殻肥料設置場所でホソメコンブ群落の繁茂及びキタムラサキウニによるコンブの摂食を確認、循環型再生産システム構築の可能性を示唆



ウニ殻肥料作成



ウニ殻肥料設置試験

鰯のブランド化『鰯宝(しほう)』

・定置網で漁獲量が増加したブリのブランド力向上のため、船上活締めと脂肪測定による厳選個体(脂肪率15%以上)を『鰯宝』と名付け出荷
→買受人から絶賛され、従来品の倍近くの価格に上がり、北海道外へも流通され好評価
(未処理ブリ単価:532円/kg
→活締めブリ単価:1,032円/kg)



厳選された『鰯宝』



殺菌海水による鰯洗浄



脂肪測定